

公表

事業所における自己評価結果(放課後等デイサービス)

事業所名		放課後等デイサービス きぼう東岩槻		公表日		2025年 2月 28日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		2部屋ある事で人数が多い日等、分散して過ごす事が出来ています。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		6		配置人数に合わせて担当職員や外出先を変更する事で安全な活動が行えるよう留意しています。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		3	3	バリアフリー対応が出来ない建物の構造となっています。	なるべく室内の段差等がなくせるよう、環境整備を行なっていきます。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		6		毎日清掃をしており、掃除チェック表を作成する事で清潔を保てるよう、職員間での視覚化を行なっています。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		5	1	必要に応じて2部屋の内、1部屋をクールダウンの為に使用する事はありますが、個別の部屋として使用するのは難しい場面があります。	児童の様子を考慮し、すぐにクールダウンの場所として片側の部屋を使うよう環境を整えていきます。	
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	送迎後の振り返りの時間や、朝礼内前日の特記事項の共有を行なう事で日々振り返りと目標設定を行う事が出来ています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	HPにて事業所評価を公開しています。そのほかにも保護者様からのアドバイスやご指摘を参考に改善に繋げています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎朝の朝礼時に各職員と業務について共有を図っています。これにより、意見を話し合う事で業務改善に努めています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5	外部評価は行なっておりません。	外部評価は受けておりませんが、事業所内で客観的に見て業務改善に繋げています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		きぼう内で社内研修を行う事で支援の質の向上につなげています。		
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	HPにて支援プログラムを公開しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		記録を使い、振り返りを行ったり、保護者様との話やLINEにてニーズの確認や計画の再考・立案等を行なっています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		支援会議を行ない、職員間で共通の認識を得ています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		支援計画の一覧を事務所に掲示する事で計画に沿った支援が出来るようにしています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	JSI-Rを用いてアセスメントを取っています。標準化されたツールに関して、職員間での共通理解が薄い事から改善していきます。	ツールのフォーマットの変更を図り、職員間で共有がしやすいシステム作りを行なっていきます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	支援計画に記載し、意識しています。具体性に関しては改善の余地があります。	各項目に対してどのような支援や関係機関とのやり取りを図るか等具体的に盛り込み保護者様に対しての理解を得られるよう改善してきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	日々活動に入る前の打ち合わせを行う事で活動の立案を職員全員で行なっています。		

切 な 支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		前日の活動や振り返りを行なう事で活動が固定化しない様になっています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		児童のその日のコンディション等に配慮し、なるべく、小集団でも活動が出来るように活動内容を考えています。また、保護者様や児童のニーズを確認し、個別活動が出来る時間を設けています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		その日に担当する児童を決める事で、各職員が支援目標を意識できるように心掛けています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	毎日活動後に振り返りの時間を取っています。退勤時間によって参加できない職員もいますが、クラウド上に児童の日々の記録を取る事で翌日も確認が出来るよう工夫しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日々の記録や支援計画に対するアプローチなど、項目分けをして記録を取っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	活動中など、保護者様と共有を図りたい事をLINEや電話等のツールを用いて共有、必要に応じて支援計画の見直しを行なっています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	1	自立に向けた支援や、様々な経験が出来るような活動を組むように留意しています。	全職員が意識出来るよう、ガイドラインを事務所内のすぐに関覧可能な所に掲示、または保管するなどして意識するよう伝えていきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1	嫌なことややりたくない事があった時には、本人の口から伝え、選択ができるような促しを行なっています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 様 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		職員間で参画する職員を話し合い、管理者や児童発達管理責任者以外の職員も会議に参画出来るようにしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	必要に応じてカンファレンスを行ったり日々の情報提供をするなどして連携を図っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	2	先生との引継ぎの際に行なっています。しかし、以前トラブルがあり、特別支援学校以外との連携には課題がある為、予定変更に関して職員間で確実に共有できるようなシステムを再構築しています。	予定変更に関するシステムの再構築を行いません。また、来年度は学校との連携も強化していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	5	連携を図った実績は過去にあります。今年度は出来ませんでした。	新入生に対する情報共有を利用の始まる前に行う事で、事前のアセスメントを取れるよう留意していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3	昨年度卒業する児童がいなかった為、連携していません。	今年度は卒業の児童がいる為、障害福祉サービス事業所との連携を図っていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3	岩槻区の子ども部会等に参加する事で研修の機会を設けています。	全ての職員が参加出来るわけではないので今後、各職員に参加の機会が持てるよう調整していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	放課後児童クラブとの交流を図ろうとしましたが、日程が合わず今年度は断念しました。	来年度は近隣の放課後児童クラブとの交流が図れるようなイベントを立案しようと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	管理者や児童発達管理責任者をはじめとした各職員が参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時に話をしたり、支援計画更新時の聞き取りを細かく行うように留意しています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	定期的に面談を行う事で家族支援を行っていますが、グループでのペアレントトレーニング等は出来ていません。	来年度ペアレントトレーニングや保護者様向けの研修が行えるように計画を立てます。	

保護者様への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明を行っております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		支援計画書更新時や面談の際に説明しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		面談時や帰りの送迎時、LINE等のツールを用いて説明を行うようにしております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		ご家族がお悩みを感じていると考えられた際は職員間でも共有し、どのような助言が出来るのかを検討し、伝えていきます。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	ゴールデンウィークに保護者様参加可能なバーベキューと夏祭りを企画しました。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		ご意見を頂いた際には職員間で相談をおこない対応すると共に、社内ではインシデントを残して共有を図っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者様に対して発信しているか。	4	1	定期的にきぼう便りという会報誌を作成し配布しています。また、日々の記録として、保護者様にLINEを通して児童の動画や写真を送信し、成長を感じられるような支援を行なっています。	※1名無回答
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		鍵付きの棚に保管しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	1	児童の特性に応じてジェスチャーやマカトンサイン、スマートフォンの文字の提示などをすることで意思の疎通や情報の伝達を図っています。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	今年度は出来ませんでした。	コロナ禍も終息したため、日程を調整し、地域の方とも関わりを持てるような活動を立案していきます。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	月に1回を目安に各状況に応じた訓練を行っております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		BCPを作成し、事務所内に掲示しております。また、BCPをもとに訓練も行う事が出来ています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	1	常備薬やてんかんの有無については契約時に、その他の服薬に関しても、保護者様との情報共有を図り、副作用の有無等の確認も出来ています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		契約時に確認を行ない、与薬が必要になる場合は与薬依頼書と共に薬をお預かりする対応をしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	月に1回を目安に訓練を行なっています。改善点に関しては随時改善しています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2	周知不足な面があります。	必要に応じて、避難訓練の際に保護者様に連絡をするような工程を組み込むなどして、保護者様にも安全計画の周知を図ろうと検討しています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	インシデントの書式を用いて系列事業に共有を図り、月に一回、全事業所の代表者が集まる会議を通してインシデントの確認・分析を行なっています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止研修を開催し、職員間で周知をしました。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		契約時の確認や同意書をもらう事でご理解を得ています。		